

第 1 回日本成長戦略会議資料

(株) シナモン 代表取締役社長 CEO 平野未来

令和 7 年 11 月 10 日

1) 高市政権発足への想い

2) 経済安全保障における AI 活用

AI を経済安全保障領域で活用し、他先進国へのキャッチアップをはかると同時に我国の強みに育てる。具体としては、経済安全保障 AI プラットフォームを以下のような技術を組み合わせて確立することを提案する。

$$\text{経済安全保障 PF} = \text{Supply chain AI} \times \text{Cyber AI} \times \text{Policy AI} \times \text{Emergency AI}$$

Supply chain AI:

重要物資・部材・エネルギー・物流能力の連続性を最適化。平時は効率化、非常時は代替と配分に切り替え。

Cyber AI:

重要インフラの脅威検知・ゼロトラスト運用・AI の安全制御。

Policy AI:

法規・制裁・許認可・国際標準などの国家 RAG。

Emergency AI:

災害・パンデミック・地政学ショック時の指揮支援（配分・避難・通信）。

また、経済安全保障プラットフォームは、AI 時代の DFFT(Data Free Flow with Trust)の実現を標榜、当該領域における日本のリーダーシップを強化する。

3) 危機管理投資・成長投資

17 の戦略分野の中で AI との相性がよく投資対効果が高い分野に投資する。

例) 造船

- 成長産業であり、防衛・安全保障の観点からも重要であるにも関わらず中国・韓国の後塵を拝している

- AI・ロボットを活用しながら、次世代燃料船(アンモニア、水素等)でトッププレイヤーを目指す
- 技術・設備・トップ人材への大規模投資により、建造能力を倍増させる

なお、AI 領域において弊社は RAG と AI-OCR 分野で世界最先端技術を開発してきたが、最先端技術の研究開発における重要要件は以下の 3 点。

- ・ 本当に最先端の技術になるのか不確実な中で投資していくという気概
- ・ グローバルでトップの人材を獲得できる採用力
- ・ あきらめずとことんこだわり追求し続ける胆力

以上